

キャプテンとNPOセイフティマネジメント協会

年末合同交流会開催

アルコールとストレスの密接な関係をテーマに

保険代理店の㈱キャプテン(出崎克代表取締役)とNPOセイフティマネジメント協会(岡野光彌理事長)は東京都・新宿区の日本青年館で12月6日、年末合同交流会を開催。医学博士の佐野秀典氏が、「アルコールとストレスの密接な関係」をテーマに講演を行った。続いての交流会ではアルコール談義に花が開いた。

講演会では、㈱M.D. 締役(城北公園クリニック院長・医学博士)が「アルコールとストレスの密接な関係」一あなた

のその飲み方と酔い方は問題です」と題して次の講演を行った。

◇ 1日5・5合以上の大量飲酒者は250万人と



佐野氏



出崎氏



中山氏

人口の2%を占めており、総合病院の入院患者の3〜4人に一人はアルコール関連だ。飲酒状態には①非飲酒②機会飲酒③常習飲酒④アルコール乱用⑤アルコール依存症の五つのステージがある。正常飲酒の限界点を越えると身体的問題・社会問題・精神的問題を抱える「アルコール乱用」へ、さらに壁を越えると身体依存の「アルコール依存症」となっていく。アルコール依存症の誤解として①大酒飲みでは

ない②暴れない(飲んだら寝てしまふ)③飲みたくないう時期もある④本人に自覚はない(飲酒している一定期間の記憶がない)⑤心と体の病の五つがある。

「世話女房」がいる家庭では、夫の依存症は少ない。なお、女性は男性の半分の酒量と半分の期間で依存症になるので注意が必要だ。

へ進出している日系企業および中国の人たちにも日本の良さを伝えると同時に、全世界に進出する企業のリスク管理のサポート役を努めていきたい」とおっしゃった。

アルコール談義が盛り上がった中、中山裕登取締役が「私は良い妻を持ったのでアルコール依存症になる要素が一つ少ない」と締めくくった。

交流会では出崎代表取締役が「キャプテンは4月17日に創業20年を迎えることができ、年末の交流会も3回目となり皆さまにお礼を申し上げたい。当社は中国に足掛かりをつけており、少し芽が出たと実感している。来年はこれを布石に中国

来年はこれを布石に中国